

## 第 1 3 回山陽小野田市都市計画審議会議事録(要約版)

○開催日時	平成 27 年 8 月 27 日 (木) 午前 10 時～12 時
○開催場所	山陽小野田市民館 2 階 第 1・2 会議室
○出席者	1 号委員 中西弘、森田廣、藤田敏彦、田中剛男、川空忠男、原田頼邦 2 号委員 笹木慶之、杉本保喜、長谷川知司、山田伸幸 3 号委員 師井努、塩田賢二、五十嵐章彦、石部智子
○欠席者	2 号委員 河崎平男
○事務局	佐村建設部長 都市計画課 森課長、高橋主査、大和係長、立野主任技師 環境課 佐久間部次長兼課長、木村課長補佐
○傍聴人	なし
○会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 新委員紹介 4 議事 議案第 1 号 山陽小野田都市計画火葬場の変更について (諮問) 5 その他 「山陽小野田市緑の基本計画」の経過報告 「山陽小野田市都市計画道路網見直し方針」について 6 閉会
○会議内容	
1 開会	
2 市長あいさつ	
3 新委員紹介	
4 議事	
○ 議案第 1 号 山陽小野田都市計画火葬場の変更について (山陽小野田市決定)	事務局から一括説明。
・ 質疑応答(要旨)	
(委員)	地域住民の同意、賛同が必要だと思うが、法的根拠とどういうことをされたのか教えていただきたい。
(事務局)	墓地、埋葬等に関する法律施行細則のなかで、住宅、学校、病院、その他の多数人の集合する場所から 220 m 以上離れた場所であることの立地条件が定められており、実際に民家、事業所があるため、該当する地域に事前の説明会を行い、同意をいただく手続きを進めています。
(委員)	同意は、正式な書類か。

- (事務局) 墓地、埋葬等に関する法律により、許可申請に添付する書類です。今回、都市計画決定をいただき、同意を取っていかうと考えています。
- (委員) 小野田斎場のところへの建設がだめな理由はなにか。
- (事務局) 小野田斎場の周囲には小野田霊園があり、必要な面積が確保できないことと解体して建て直すことによりその解体期間中は山陽斎場のみとなりリスクがあるということです。
- 都市計画上は、用途の問題と墓園として都市計画決定された区域内ということからリスクがあるということです。
- (委員) 新火葬場には胞衣炉が無いが、受け付けないのか。
- (事務局) 通常の人体炉で十分対応できますので、胞衣の受付はします。
- (委員) どこからの胞衣が多いか。
- (事務局) 市内の市民病院、労災病院がほとんどで、要望もあることから、受け付けていく予定です。
- (委員) 胞衣炉としても使用すると、使用回数が増えるが耐用年数の計算に影響はないのか。
- (事務局) 今後、火葬炉を決定するにあたり、各社に人体炉だけではなく、胞衣の使用も含めた耐用年数を出していただき、プロポーザルを行う予定です。
- (委員) 予備炉を考えているが、必要性を教えてください。
- (事務局) 人口予測の正確性、死亡率等を考え、スペースだけは確保して当面は控えとします。
- (委員) その予備スペースに胞衣炉を置いて、全体の耐用年数を延ばすという考えは無いのか。
- (事務局) 人体炉で十分対応可能と考え、胞衣の専用炉を置く考えはありません。
- (委員) 動物炉の検討はしていないのか。
- (事務局) 動物炉の要望については、市内に動物・ペットを火葬する民間事業者があることと、そもそも人体を火葬するところで動物を火葬するのはどうかという意見もあり、検討をした結果、盛り込まないという最終決定をしております。
- (委員) 新火葬場建設基本計画の検討委員会のメンバーは。
- (事務局) 学識経験者で山口大学の先生が1名、建築士会から1名、公募委員が2名、市民団体の代表者が4名です。
- (委員) 崖下に火葬場ができるという形だが、その崖の部分はどうなるのか。
- (事務局) 今後、造成設計の中で、自然の法面か、擁壁が必要か等を検討していきます。
- (委員) 市民の意見の中に子ども達の時間をつぶす遊園地的なところを考えてほしいとあったが、それについての考えはどうか。
- (事務局) キッズルームは考えているが、遊園地的なものとしては、ご意見として参考にさせていただきます。
- (委員) 基本計画はできているが、今後基本設計としては、再度見直して設計されるのか。

- (事務局) 基本設計は、基本計画をベースにし、よりよいものと思っております。面積や火葬炉数の基本となる部分は重視していきます。
- (委員) 水道局の進入口と新火葬場の進入口の一体利用という発想はなかったのか。
- (事務局) 進入路の協議検討は行っていますが、一体利用という結論には至っていません。
- (委員) 実施設計が決まって都市計画決定すれば、都市計画上の規制をかける区域がコンパクトになると思うがどうか。
- (事務局) 自然緑地を残すことで県道や建物からの視界を緩衝させる意味合いがあり、将来のことも含めて土地が必要という考えです。
- (委員) 西目峠を過ぎると下り坂で左カーブのため、火葬場の進入口を見過ごされるのではないか。
- (事務局) 宇部土木建築事務所と協議を行っており、右折やカーブについて十分考えたいと思います。
- (委員) 現在の山陽斎場を営業しながら新火葬場をつくっていく計画なのか。
- (事務局) 山陽斎場をできるだけ使用しながら、新火葬場を建設していきます。

- ・採決の結果、全会一致で議案第1号は原案どおり承認された。

## 5 その他

- 山陽小野田市緑の基本計画の経過報告
- 山陽小野田市都市計画道路網見直し方針について

事務局から説明

- ・質疑応答(要旨)

(委員) 緑の基本計画の策定に係るスケジュールで市民説明会の時期と何箇所でするのか教えてほしい。

(事務局) 市民説明会は11月の中旬か下旬。会場は小野田地区として市役所、山陽地区として文化会館を考えています。

(委員) 緑の将来像図には緑の拠点6箇所ある。2箇所では少ないのではないか。

(事務局) ご意見として、今後検討します。

(委員) 最終案の公表は、3月末くらいか。

(事務局) 次回の都市計画審議会として12月を想定しています。公表は、年内にしたいと思っています。

- (委員) 今、イノシシ被害が非常に多い。自然界の動物が農地まで出て緑が荒らされている可能性が高い。具体的な対策を考えないといけないのではないか。
- (事務局) 緑の基本計画は基本的な構想であり、具体的な事までは取り入れていない。
- (委員) 例えば、山林の保全で言えば、ほおっておくことではなく、ある程度伐採も必要である。現状では十分管理をされていない状況だと思われるが、それを認識された上でこの計画を立てていくのか。
- (事務局) この基本計画を作成するにあたって、各課の意見を参考に作成しています。また、総合計画に基づいた方向性で作成しています。
- (委員) 都市計画道路の見直しの説明資料は配布しないのか。
- (事務局) パワーポイントで説明した資料は、後日、お手元に渡るようにします。
- (委員) 都市計画道路の見直し方針の策定期間はいつか。
- (事務局) 策定は、来年の3月を目標にしています。基本的に長期未着手で廃止候補路線については、なるべく早い時期に廃止に向けた都決をしたいと思えます。また見直し変更路線については、新たな規制をかけるため、事業化の目途が立つ時点で都決の変更になると考えています。
- (委員) 道路の見直しに公共交通機関の見直しの意見を活かす考えはあるのか。
- (事務局) 公共交通機関は既存の道路を通っていると思うので、調整して見直しを図る予定はありません。

## 6 閉会